

九州の豊かな食と農を未来へ

受けましょう

みどり認定



みどりの食料システム法に基づき、環境負荷を低減する農業活動に関する事業計画を作成し、県知事の認定を受けることで、さまざまな支援を受けることができる制度です。

補助事業

みどりの食料システム戦略推進交付金や強い農業づくり総合支援交付金など
国庫補助金の採択で優遇・要件化^{*1}
新たな環境直接支払交付金はみどり認定を要件とする方向で検討中^{*2}

税制優遇

化学肥料・化学農薬の使用低減に資する設備投資を行う際の
所得税や法人税の特別償却

融資

農業改良資金（無利子・返還期間延長）など
日本政策金融公庫の無利子・低利融資の貸付

^{*1}各県にも補助金等の
メリット措置がある場合があります
^{*2}令和9年度から

PR

消費者や取引先等に環境負荷低減への取組をアピール

みどり認定を受けるには？

対象の取組

認定の対象となる取組は以下のとおり。
以下のいずれかに取り組んでいれば申請可能です。

1号認定

土づくり＋化学肥料・化学農薬の使用低減
エコファーマー、特別栽培、有機農業など

2号認定

温室効果ガスの排出量削減
省エネ設備の導入や水田での中干し期間の延長など

3号認定

上記以外の環境にやさしい事業活動
バイオ炭の農地施用、プラスチック資材の排出抑制など
農林水産大臣が定める事業活動

九州管内の
認定事例は
裏面へ

申請の手順

申請は以下の3ステップ。
個人でも生産部会や集落営農などのグループでも申請可能です。

まずはお住いの
市町村等*に相談

申請書等を
作成・提出

県が計画を認定
みどり認定農業者に！

*福岡県は県農林事務所等、佐賀県は県地域農業振興センター等

【九州管内の認定事例】



宮原 みく美 さん 福岡県久留米市／いちご

1号認定

堆肥・有機質肥料の施用による化学肥料の使用低減に取り組む。防虫ネットや生物農薬の活用などにより、化学農薬の使用減少にも取り組む。



JAさが管内 きゅうり生産者 佐賀県7市町／きゅうり

2号認定

ヒートポンプの導入により燃油使用量の削減と年間を通じた生産安定に取り組む。新規就農者等が国の交付金で採択ポイントの加算を活用し、低コスト耐候性ハウスを導入。



株式会社吉田花き農園 長崎県雲仙市／きく

1号認定

みどり認定を受け、化学農薬の使用低減を図るため、県の補助金を活用し、UV-B照射装置を導入。有機質資材の施用による化学肥料の使用低減にも取り組む。



JAたまな荒尾梨部会 熊本県荒尾市／日本なし

1号認定

草生利用有機物の還元や有機質肥料施用、機械除草技術を活用した化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組む。荒尾梨新ブランド「ことのみ」の消費者への訴求力向上を図るため、部会全体でグループ認定を取得。



久保さんちのお米株式会社 大分県宇佐市／水稻

1号認定

特別栽培米の作付け（化学農薬・化学肥料の使用低減）に取り組む。水田の中干し期間を延長することにより、温室効果ガスであるメタンの排出量削減にも取り組む。



株式会社くしまアオイファーム 宮崎県串間市／かんしょ

3号認定

バイオ炭の農地施用による土壌への炭素貯留に取り組む。国の交付金を活用し、廃棄するかんしょのバイオ炭化の検証などを実施。



日置市茶業振興会 鹿児島県日置市／茶

1号認定

有機茶園の団地化、有機JAS認証取得茶園の拡大、国際水準GAP認証の取得など、信頼性の高い茶生産を実践。

九州で4,234人、
全国で36,016人。
みどり認定者数、年々増加中。

令和8年3月末現在

九州農政局
生産部 環境・技術課

みどりの食料システム戦略推進特別チーム

TEL : 096-211-8710

MAIL : midori_kyushu@maff.go.jp